

# 「学びを通じたステップアップ支援促進事業」(札幌市:若者の社会的自立促進事業)

## 1. 取組を実施した背景(解決すべき地域の課題・目的)

- ・平成30年3月に「札幌市子どもの貧困対策計画」を策定。計画に先立ち行った調査にて、家庭の経済状況が子どもの学びの環境に影響を与える可能性が示された。
  - ・中学での不登校生徒が増加しており、高校に進学しても学習面・対人面の不安から不登校となる生徒に対し卒業に向けたフォローが求められている。
- 学力習得や高卒資格取得により就職や進学に繋げること、学習のなかでつまづきや挫折経験のある若者が学習の中で目標を達成することにより、自信を取り戻し社会的自立に向けたステップを踏むことを目的として平成30年度から本事業を開始。
- 2年間で53名が学習支援に参加し、うち6名が高卒認定資格取得、6人が高校への再入学を果たしている。**

## 2. 実施内容

- 【実施主体】市内の学習支援に関わる複数の団体によるサポートチーム「さっぽろ学びなおしネットワーク」を作り、各団体からノウハウを持つ人材がスタッフとして参加。若者の自立を総合的に支援する市内5館の「若者支援総合センター・若者活動センター」及び協力団体拠点にて実施。
- 【事業周知】中学校・高等学校への訪問、さっぽろ子ども・若者支援地域協議会、中高生の居場所である児童会館(児童館)などへ事業周知、情報提供を働きかけ
- 【実施内容】学習相談により、本人の悩みや将来に対する考えに基づき目標を設定  
一人ひとりの学力や目標に合わせて、使用教材の選定及び学習計画を立案し、週1回・2時間の学習支援開始  
試験前後にはすべての参加者についてケース検討を行い、合格に向けた学習プランを確認しながら支援に当たるほか、希望に応じ、メールやSNS(LINE)を活用した学習相談・学習支援も実施(新型コロナウイルス拡大に伴う施設休館時にも活用)  
合格後も、次の進路に向けた支援や見守りを継続

### 【R2年10月末時点実績】

学習相談 延べ188回  
学習支援 7会場・参加実人数39人  
(延べ参加数365人)  
高認試験受験者17名中16名が合格  
(資格取得8名・科目合格8名)

## 3. 実施により得られた成果・効果

- ・過去のつまづき経験から学習に苦手意識を持つ若者が、自信を取り戻し将来の目標を選択できるようになった。
- ・中卒者や高校中退者の自立支援に加え、高校在学中の生徒に対する中退防止という新たな役割を果たしている。
- ・これまでの若者支援に新たな支援メニューが加わったことで、より幅広い支援対象者を捕捉できている。
- ・新型コロナウイルス拡大のため施設を休館した際も、SNS(LINE・ビデオ通話)により継続的な学習支援を提供できた。

## 4. 取組の評価体制・評価手法・評価の結果

- 【評価体制・評価手法】
- ・業務運営委員会での検討
  - ・成果指標に基づいた評価(利用者、支援継続率、受験率及び合格率)
- 【評価の結果】
- ・おおむね指標を達成することができている
  - ・特に合格率については、専門性の高いコーディネーターが合格に向けた科目選定や学習プラン策定を行うことで、高い実績を上げている。

## 5. 課題・今後の展開

- ・学習支援と自立支援を組み合わせ、若者が抱える様々な課題に対応していく。生活面のサポートが必要であったり、合格後の進路選択でつまづく利用者もいることから、高卒資格取得後や進学後も引き続きフォローする体制を整える。
- ・食の提供や託児等により学習を継続できる環境づくりをサポートする。
- ・引き続き高校在学中の生徒から支援することにより、中退による支援の途絶を防止するとともに、潜在するニーズの捕捉に取り組む。

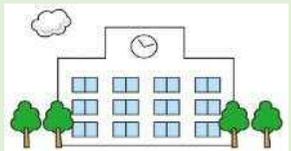
# 6. 実施体制

**児童会館(児童館)**  
市内103か所  
中高生の居場所



**中学校・高等学校**

卒業・退学時の生徒情報提供  
進路相談に相談員が同席  
学校内ユースワーク  
学校訪問による教員や  
養護教諭からの情報提供



**さっぽろ子ども・若者支援  
地域協議会**

児童相談所・フリースクール・教育相談室・  
ひきこもり支援センター・少年鑑別所・警察  
など市内21の支援機関による連携

**札幌市若者支援施設  
(若者支援総合センター・  
若者活動センター)**

生活困窮世帯の学習支援団体  
教職員支援団体  
通信制高校教員  
ひとり親の相談窓口  
フリースクール

自立支援相談・プログラム  
居場所 サポステ  
若者の交流 学習相談・学習支援



**さっぽろ学びなおしネットワーク  
(様々な支援団体の専門性・人材を活用)**

**就労や企業でのジョブトレーニング**

**大学等への進学・学校復帰・高校卒業**

# 7. 事業イメージ

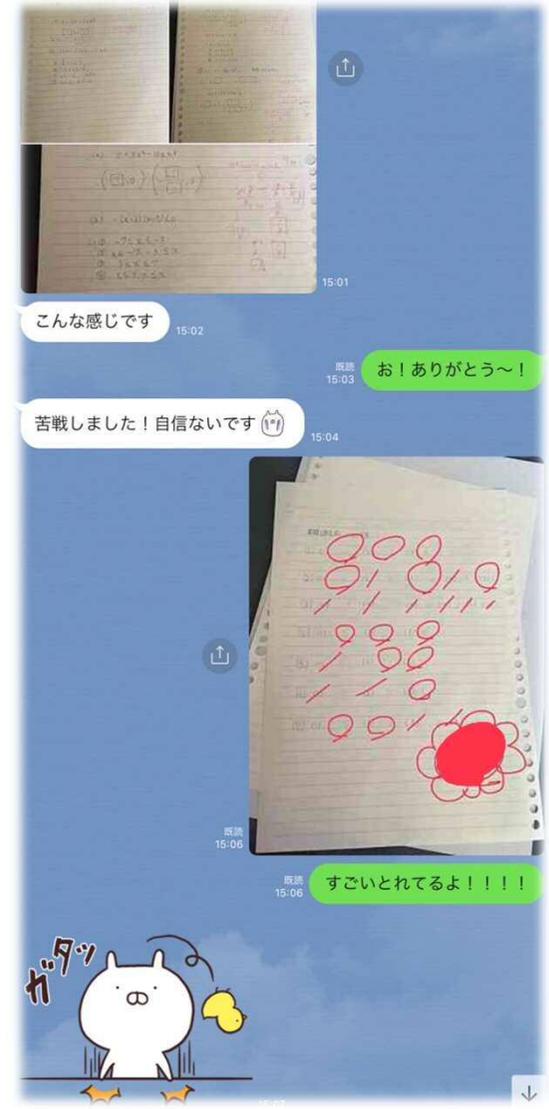
【札幌市若者支援総合センター ロビー】



【学習支援の様子】



【LINE学習の様子】



【学校内ユースワーク】



【食の提供例】



※令和元年度までの状況を含む